

●第5回 奥大井接岨湖まつり

開催日：平成20年11月22日 土曜日

紅葉ウォーキング

9:00 前後

長島ダム管理所1階にて出発式

水源地域ビジョン推進会議議長の佐藤氏による挨拶の後、紅葉ウォーキングスタートです！まずはダム堤体内の管理用通路を歩いてアプトいちしろ駅までウォーキング。



写真に指が写っているのはご愛敬、当日は27人+スタッフ4人で出発です。

【余談】アプトいちしろ駅に行くには旧井川線トンネルを通るため必須アイテムが…そう！懐中電灯です。きもだめしには1本のろうソクも良いかもしれませんね。

10:00 前後

日本一急な坂を登る南アルプスあぶとラインは奥大井湖上駅につづくレインボーブリッジや私鉄では日本一高い関の沢鉄橋など沢山の橋を通過するため景色も見応えバッチリです。紅葉ウォーキングではアプトいちしろ駅から閑蔵駅まで鉄道を使いました。



【余談】アプト式車両は長島ダム駅までしか登りません。ですので必ずアプトいちしろ駅と長島ダム駅では車両の連結シーンを見ることができるのです。

11:00 前後

天候にも恵まれ青空の中、歩くウォーキングはとても気持ちの良いものです。



閑蔵駅から旧道を進むと私鉄では高さ日本一の関の沢鉄橋が見えてきます。

鉄橋の上を赤い車両がゆっくりと進む光景は是非とも写真に納めたい一枚です。



12:00 前後

関の沢鉄橋が見える展望台から更に進むと接叡峡温泉街にでます。ちょうど時間もお昼時、同日に開催された接叡峡オータムフェアで食事休憩です。



特別講演の梅津神楽(静岡県民俗無形文化財)を楽しみながら豚汁に不思議な色の団子が入った接叡鍋を食べました。

【余談】掲載している写真は一緒に歩いたスタッフが撮ったものですが途中疲れたのかグッタリとしながらおにぎりを食べていました。しかし、その後は最後まで頑張って写真を撮影しながら歩いてました。

接叡鍋に入のお肉は季節によって変わることも！この日はまだ禁猟期間だったため豚肉でしたが真冬に民宿などに泊まって食べるとイノシシや鹿が入っているかもです。

13:00 前後

食事休憩が終わると次は八つの橋が架かる八橋小道(やっぱしこみち)～Love Romance Road～へ出発！

立ち止まったのは河内地蔵堂の前。ここで地域に伝わる民話を知りました。



さあ！八橋小道の最初の吊り橋(犬返り橋)を渡ると次は階段式吊り橋では日本一の長さを誇る宮沢橋(みやんざわばし)です！宮沢橋を渡りはじめ・・・木が！実はこの木、真横に枝を伸ばした根性のある木です。写真の宮沢橋はこの木によって先が見えませんが全長 62m で階段式吊り橋としては日本一の長さを誇ります。



八橋小道を渡ると次は南アルプス接岨大吊橋。皆さ～ん！今、大井川を横断していますよ～。

【余談】八橋小道がなぜ Love Romance Road なのか？それは若宮神社とこだま石神社に参るための参拝道だからです。若宮神社が男の神様、こだま石神社が女の神様をそれぞれ祀っており、八橋小道を通過して2つの神社を参拝すれば恋の願いが叶うとか。さらに寸又峡と井川湖にある夢のつり橋も渡れば当然、効果も倍増!?

14:00 前後

当日参加された方は非常に幸運の持ち主ばかり！なぜなら普段は見ることでできない不動堂に納められている御不動さんを観ることができたからです。



さらに進むと奥大井湖上駅へと続くレインボーブリッジにつきました。いくら頑丈な鉄橋の上とはいえ、高さも抜群なので少し怖い気も…。時間になると自分の真横を赤い列車が走るなんて体験はなかなかできません。しかも鉄橋の上でとなるとなおさらです。



奥大井湖上駅の目の前にはレイクコテージ奥大井があります。ずっと外にいと建物の中と言うだけでホッとしますよね。

【余談】奥大井湖上駅には幸せを呼ぶ鐘「Happy Happy Bell 風の忘れもの」があります。鐘を鳴らすと風が拾ってくれるのかよく響く鐘の音が接岨湖に広がります。

●第5回 奥大井接岨湖まつり

開催日：平成20年11月22日 土曜日

ミステリーバスツアー

10:00 前後

こちらは今回も大盛況！アプトいちしろキャンプ場からアプトいちしろ駅へと続く旧井川線のトンネル。当時の面影を静かに口を開けて待っている中へ勇気を持って出発！

暗～いトンネルを進むと・・・おや？小さなモコモコしたものが・・・そう！コウモリです。夜行性のコウモリ達は昼間穏やかに眠っています。



このトンネル！車で道路を走っている時に通るトンネルと同じように土の部分は崩れない様にコンクリートで固めています。しかし固い岩盤部分は掘っただけになっています。



【余談】アプトいちしろキャンプ場は長島ダムを日本で一番近くに見ることのできるキャンプ場です。夏のミステリートンネルは肝試しにももってこいの穴場キャンプ場！キャンプをするなら一度このキャンプ場を候補にしてみてもいいでしょうか？

岩肌から滴り落ちる水滴があなたの背中をゾクゾクさせるハズ！

ミステリートンネルを抜けるとまずは日本一急な坂を登るアプト式車両の説明から。アプト式車両とは？なぜアプト式車両が必要なのか？などなどいろいろな事をわかりやすく説明してくれます。ただ乗っているより「これが日本一急な傾きかぁ」と感じながら乗った方がおもしろいですよね。



【余談】この後、どんどんツアーの報告をしていきますが、バスの写真が一枚もない事は気になさらずに見てくださいね。実際はしっかりバスに乗っています。



アプトいちしろ駅から登っていくアプト式列車に乗ると必ず目にする大井川ダムの湖面。かなり水面に近いのでうまく写真を撮ると船に乗っているみたい？

【余談】左の写真にチラッと写っているのは産業遺産にも登録されている市代吊橋です。今でこそ車が1台走ることのできる吊橋ですが昔は鉄道が走っていました。

12:00 前後

バスツアーご一行様は一度、同時開催の接岨峡オータムフェアへやってきました。オータムフェアではなかなかお目にかかれない梅津神楽が…。



バイクでツーリングに来た方も沢山見えましたが駐車していた自動車の数も凄かったんです。接岨峡オータムフェアは主催された地区の方々も『今年は忙しかった』と振り返るぐらいの盛況ぶりでした。



お客さんが美味しそうに食べているものはいったい？接岨峡名物の接岨鍋です。豚汁に不思議な色をした団子が入って1杯100円…安い！しかも、これがまた美味しいんです。

【余談】接岨鍋に入のお肉は季節によって変わることも！この日はまだ禁猟期間だったため豚肉でしたが真冬に民宿などに泊まって食べるとイノシシや鹿が入っているかもです。

13:00 前後

お腹を満たした後は長島ダムの中を見学しました。



説明を受けて船庫の上に進み、その後ダムの中へと進んで行きます。

●第5回 奥大井接岨湖まつり

開催日：平成20年11月22日 土曜日

長島ダム探検ツアー

開会式

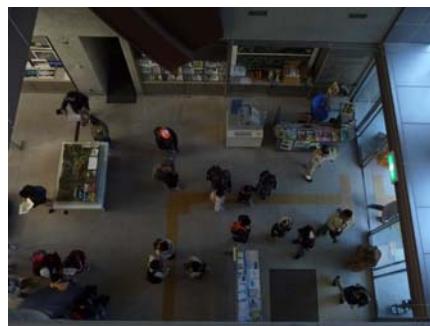
9:00～

長島ダム管理所1階にて開会式

快晴の当日。これから起こる事を想像もせず恵まれた天気による気をみなぎらせていた職員。



お客さんが10:00頃から増えだすだろうと予想していましたが9:00になるとズラズラとお見えになってので職員もビックリ！さい先良いスタートに期待が膨らみます。



【余談】長島ダムの中を探検できるダム探検は平日10:00～16:00にも事前に予約いただいた方を対象に行っています。お一人様でも構いません！興味がありましたら一度、長島ダム管理所(TEL:0547-59-1021)へお問い合わせ下さい。



10:00 前後

休日に長島ダム堤体内を見学できるのは年に数回のイベントの時です。今年で接岨湖まつり 5 回目ということもあってか 10:00 にはお客さんが更に増え管理所の中も賑わってきました。さてダム探検スタートです。最初は管理所 1 階で長島ダムを知ってもらうために少しお勉強。

【余談】実は、ただダムの中を見学するよりも少し説明を聞いた方がおもしろいんです。それは、見学した人だけがわかる秘密です。



右の写真は接岨湖を見渡せる船庫の上。接岨湖は非常に広いため湖面の移動には船を使います。その船が納められているのが船庫です。その上からダムを見下ろす事ができるのはやはり見学した人の特権です。

【余談】よく見ると気づきます。10:00 前後の写真に写る人達と違うグループです。当日は 3 人の職員が『誰か、交代してくれ！』と声を枯らしながらぼやいていました。それぐらい沢山の人がダムを見学して行かれた嬉しいぼやきです。

11:00 前後

ここで電話中の職員をズームアップ・・・しっかり案内しろ！とお叱りを受けるかもしれないですね。実は 3 名の職員が皆さんがスムーズに見学していただけるように相談中です。しかし、不思議ですよ。携帯電話が圏外区間の長島ダム。なぜ？こちらの電話は PHS 型の内線電話なんです。洪水などの緊急時にもこの電話は大活躍をします。



ふれあい館周辺でよく見かけるハシブトカラスも今日はどこかが違う。ポーズをバシッと決めてお出迎え？

13:00 前後

お腹を満たした後は長島ダムの中を見学しました。



説明を受けて船庫の上に、そしてダムの中に進みます。

ダムの中には日本最大級のあるものが…。それは長島ダムに設置されている巨大な洪水吐ゲート。えっ！洪水吐ゲートの何が日本一なのかって？1門の洪水吐ゲートが全開したときに流すことのできる水の量(995m<sup>3</sup>/s=1秒間に小学校のプール約3杯分)が日本最大級です。



【余談】ダム探検に必要な時間は約1時間です。ダムの中と言っても幅308mもありますので約1km近く移動することになります。そのため30分ぐらいでと言われる方も見えますがダムの中を歩いて終わりという場合がありますので、1時間ほど時間をみていただければと思います。

●第5回 奥大井接岨湖まつり

開催日：平成20年11月22日 土曜日

紅葉カヌー教室

11:00 前後

さあ！カヌー教室の始まり始まり～。まずカヌーに乗る前に……してください。  
と説明を受け浅瀬で馴れるまで特訓です。



馴れてくると徐々にスピードもでてきて格好良くカヌーツーリング！



12:00 前後

最後はみんなで記念写真。国際色豊かな1枚になりました。



二組目の方もまずは最初の説明から。下を向いていた顔が正面を向いて景色を楽しみだせば成功ですね。



【余談】浅瀬の部分は平成 19 年度に土砂掘削を行った場所です。平成 20 年度は更に土砂掘削を行い湖面利用できる範囲が増えるハズです。

13:00 前後

カヌー教室お疲れ様でした。ニッコリ笑顔での記念撮影は満足の証かな？



三組目は・・・お父さんと一緒にカヌー体験！お父さんと一緒になら安心してカヌーを楽しむことができるね。



14:00 前後

カヌー教室ですが皆さんカヌーはお手の物と言わんばかりにスイスイ進んで行きます。見てください右上の写真に写ったお父さんはお子さん1人を胸に抱き3人分の力で颯爽と進んでいます。



オールで漕いだ分だけ進むカヌーですが、漕ぎ手の息が合わないとあっちこっちに進むことに…。息を合わせて1・2・1・2と真っ直ぐ進む共同作業は、家族の絆の再確認です。



【余談】 天気の良い日は接岨峡に住むアイガモ達がスイスイ泳いでいます。また、接岨峡のトビはちょっと太り気味。ふっくらした姿は可愛らしくもありますがトビとしては…。

